

見つけてみよう、見方を変えて

境川中学校 一年四組 岩田三志朗

世の中には、見方を変えることによって、見えているものが違うものに変わることがある。

たとえば、左の図を見てみよう。ここには、右に男性の顔、左にはひげを生やした老人が描かれている。がこの図には、もう一つの絵が描かれているのだ。図を逆さに見てみよう。すると一瞬のうちに、ひげを生やした男性は、ベートーベンになってしまふ。このように、同じ図でも、角度を変えることで、全く違う図に変わるのである。



このことは、何も絵に限ったことではなく、日常でも

あり得ることだ。三本ある工場の煙突も、見る位置を変えるると一本しか見えなくなることもある。

次に、左の図を見てほしい。これは、岩肌

ている絵だが、この絵にも、もう一つの顔がある。上の図の丸のあたりを、「馬がいる」とイメージして見てみるのだ。すると、
どうだろう。馬の形が浮かび上がってきた。

このように、意識をすることで、その意識したものが浮かび上がってくることもある。日常生活では、心靈写真が良い例である。写真の中

に人の顔がある、と思えば思うほど、人の顔が浮かび上がってくるのだ。

このように、人の目は、見方を変えることによって、一つのものが二つに、二つのものが一つになったりする。このようなことを、例に挙げたこと以外にも、日常生活で見つけてみるのもおもしろいかもしれない。

